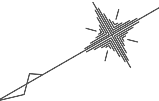


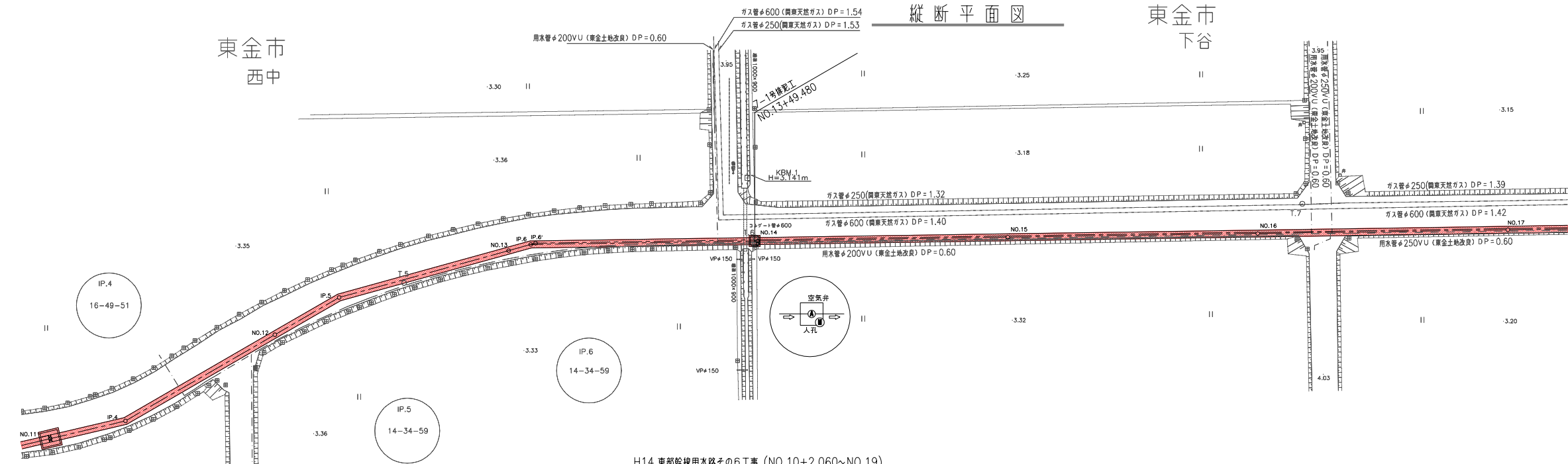
東金市
西中

縦断平面図

東金市
下谷



———	中心線
- - - - -	ガス管
— · — · —	水道管
— — — — —	用水管



H14 東部幹線用水路その6工事 (NO.10+2.060~NO.19)

(株)さとうベネック東京支社

H13 東部幹線用水路実施設計積算業務 (NO.5~NO.37+10.997)

中央開発(株)東京支社

標準断面図
S=1:50

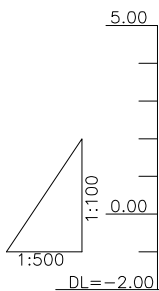
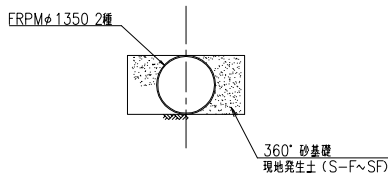
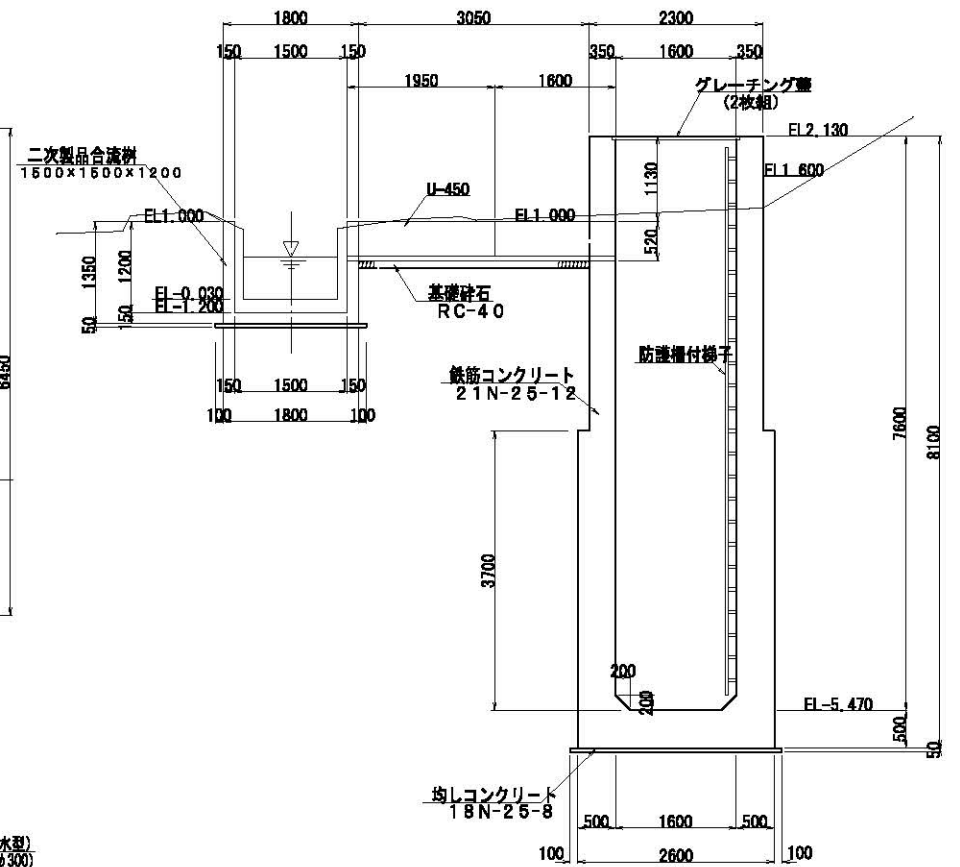
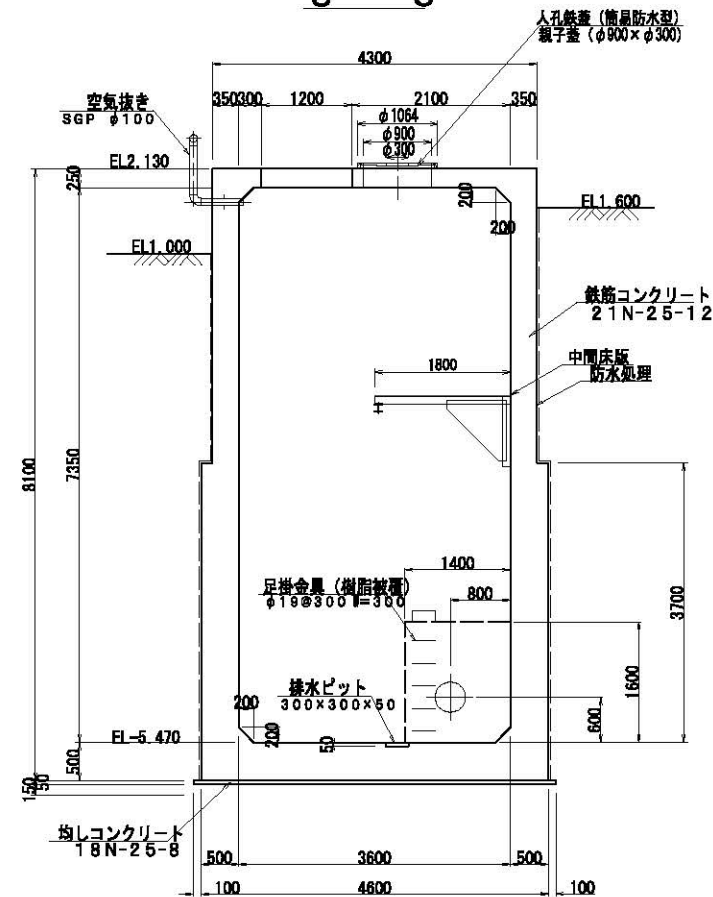
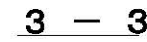
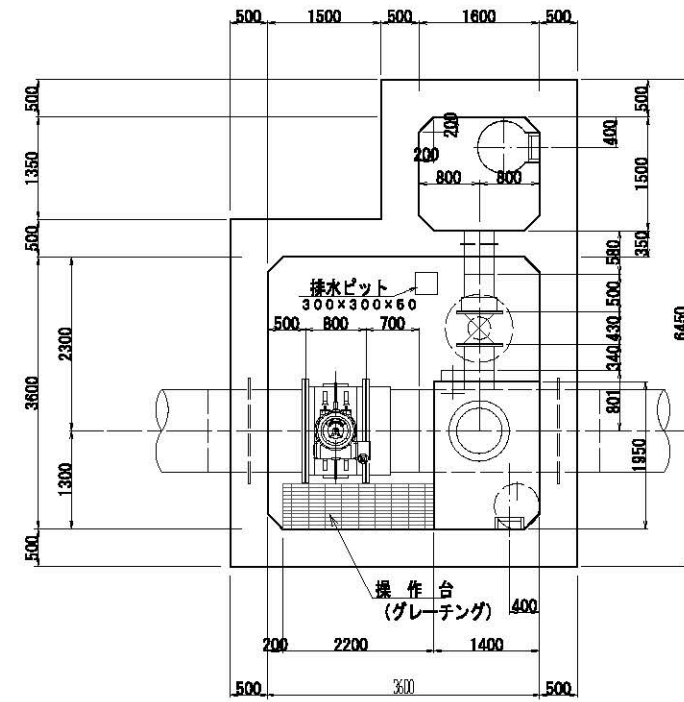
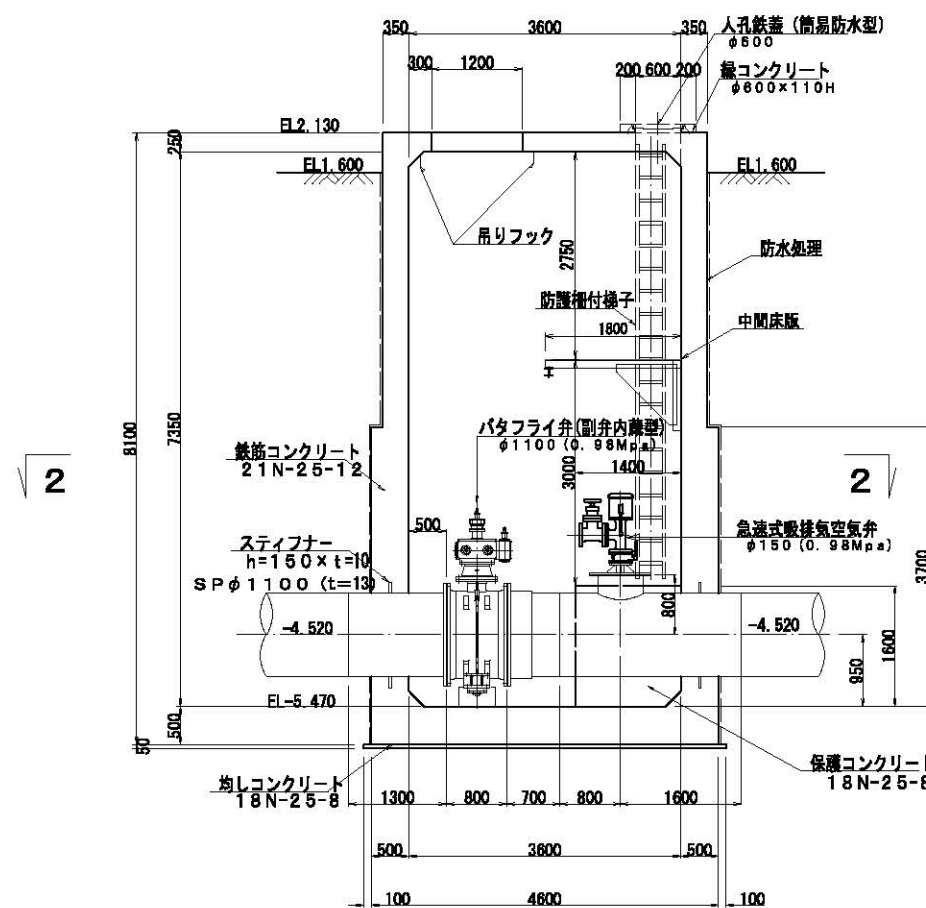
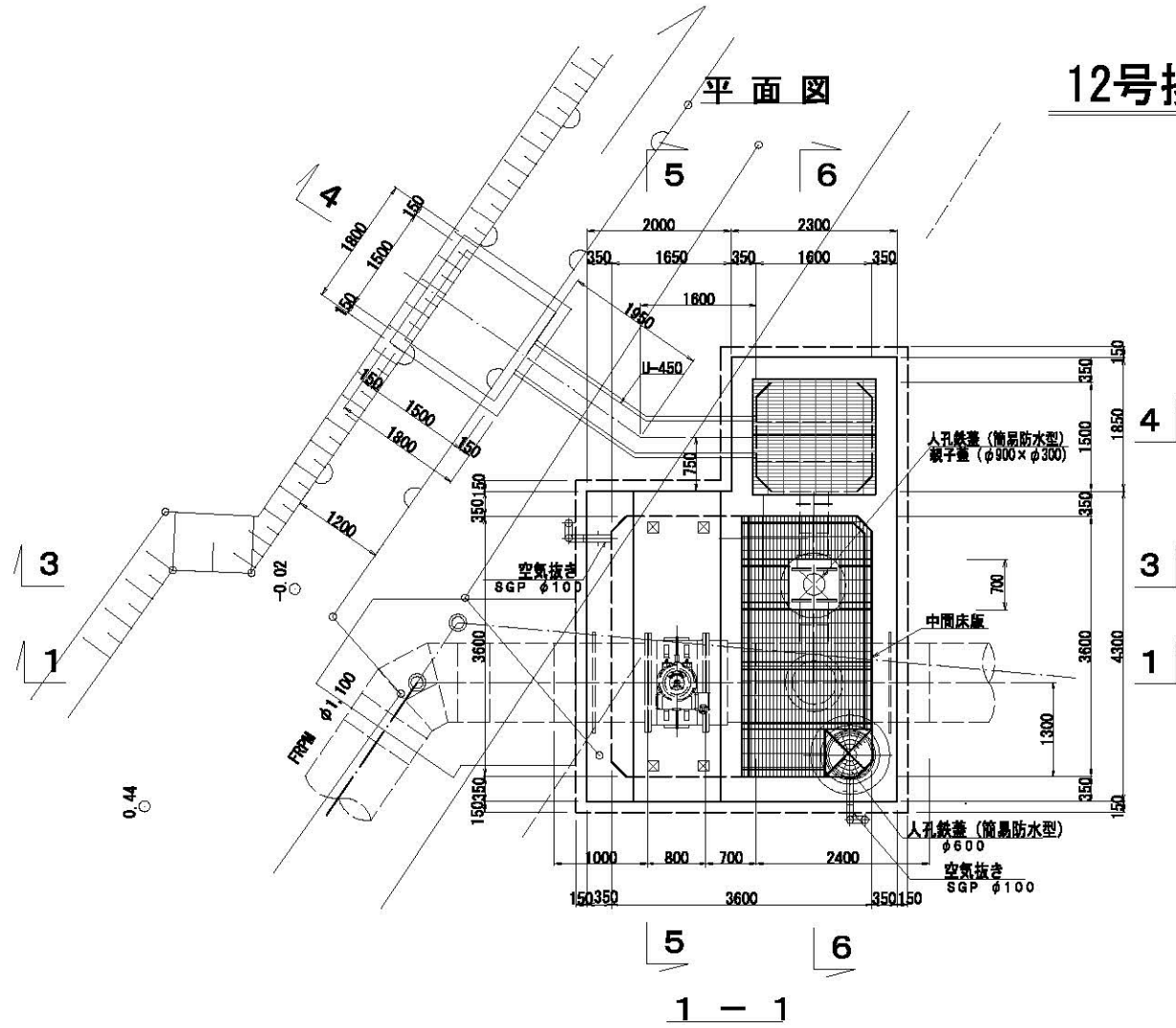


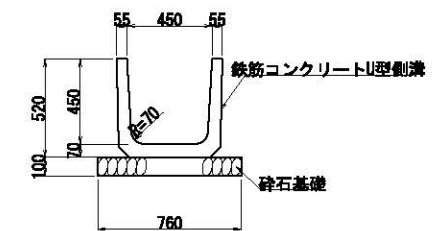
図	計	断面									
		土盛り	勾配	管中心高	地盤高	杭高	追加距離	単距離	測点	由線	
		2.95	2.94	2.95	3.02	2.97	2.96	2.92	NO.11	NO.11	
									IP.4	IP.4	
									NO.12	NO.12	
									IP.5	IP.5	
									NO.13	NO.13	
									IP.6	IP.6	
									NO.14	NO.14	
									NO.15	NO.15	
									NO.16	NO.16	
									NO.17	NO.17	

施設名	東部幹線用水路 (0312100~1100-03)		
図面名	縦断平面図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	A1 H=1:500 A2 H=1:700 V=1:100 V=1:141	図面番号	6-40/106
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

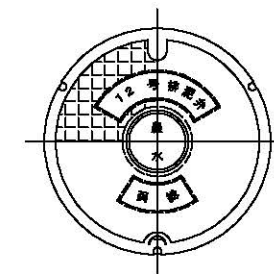
12号排泥工·8-1号制水弁工構造図(1/2)



U-450詳細図



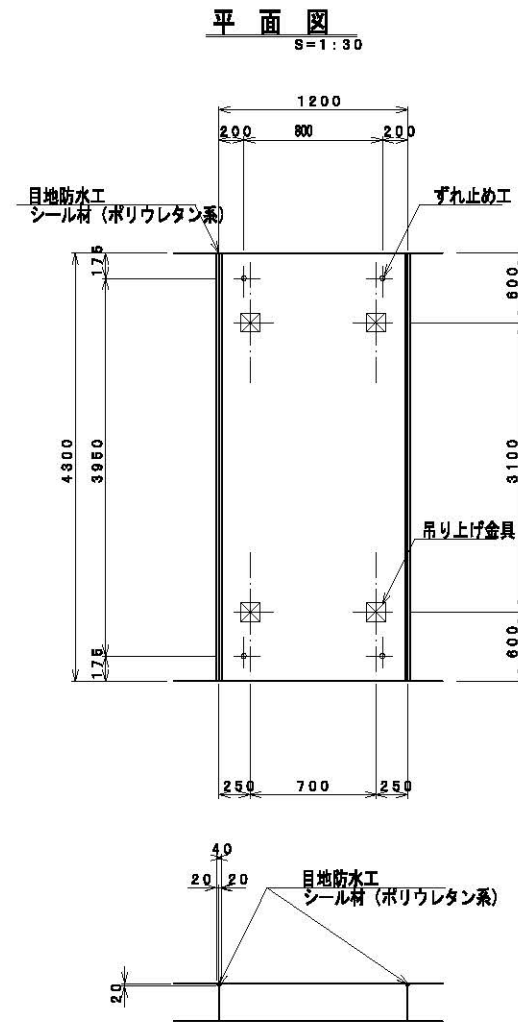
マンホール蓋詳細図



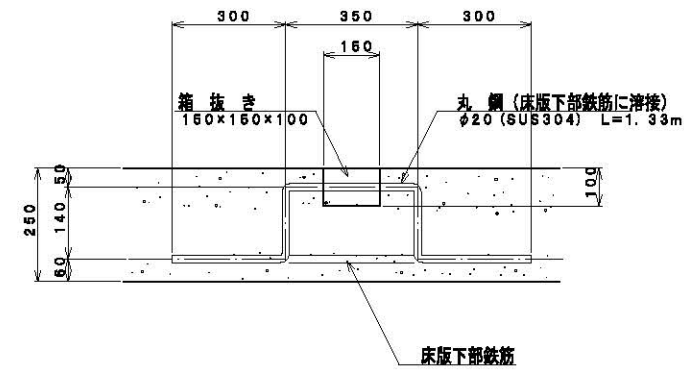
施設名	東部幹線用水路 (0312100-1100-03)		
図面名	12号排泥工・8-1号制水弁工敷設図 (1/2)		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	8-83/149
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

12号排泥工・8-1号制水弁工構造図(2/2)

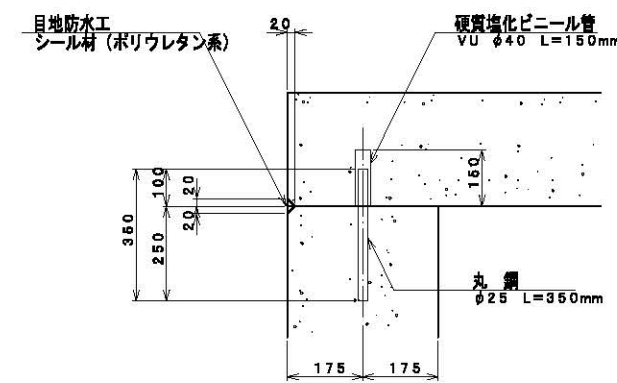
吊り上げ金具詳細図



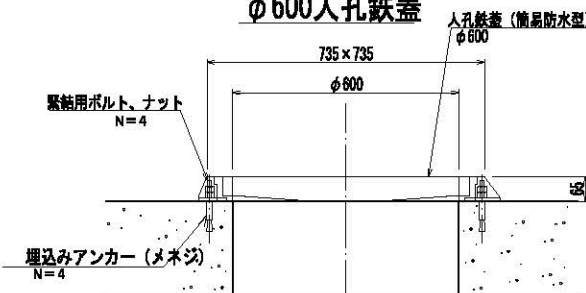
詳細図 (S=1:10)



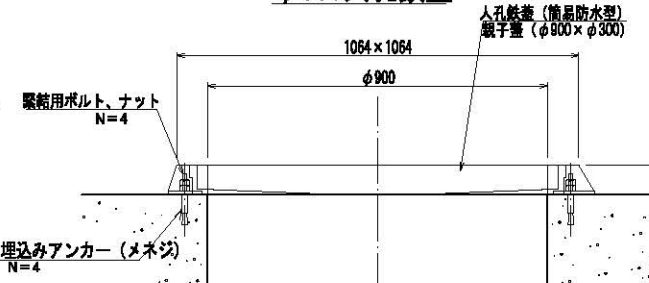
ずれ止め工詳細図



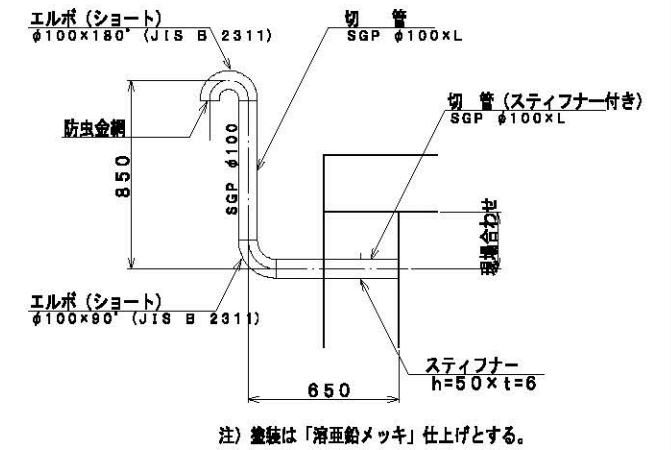
鉄蓋受枠固定部詳細図 (S=1:10)



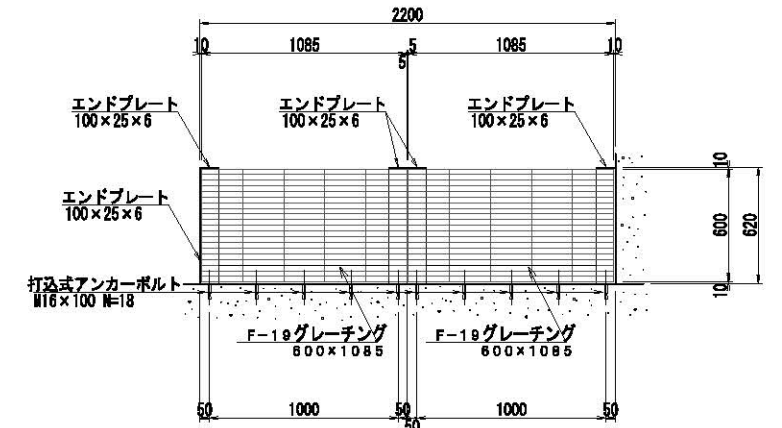
φ900人孔鉄蓋



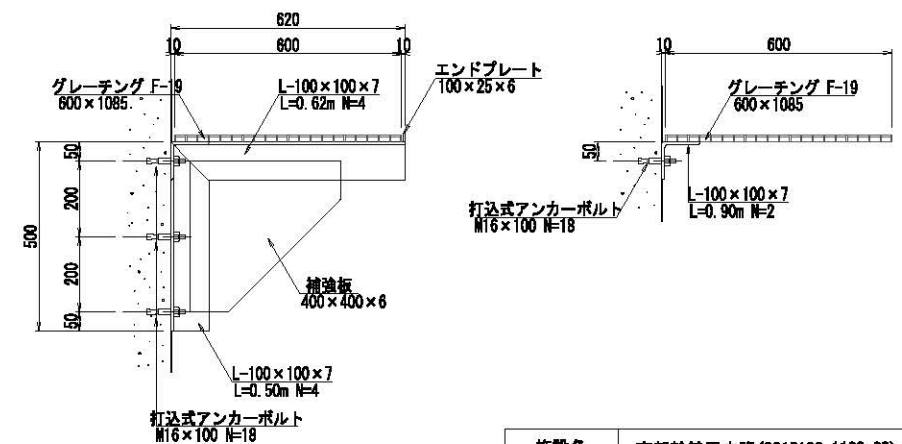
空気抜き詳細図 (S=1:20)



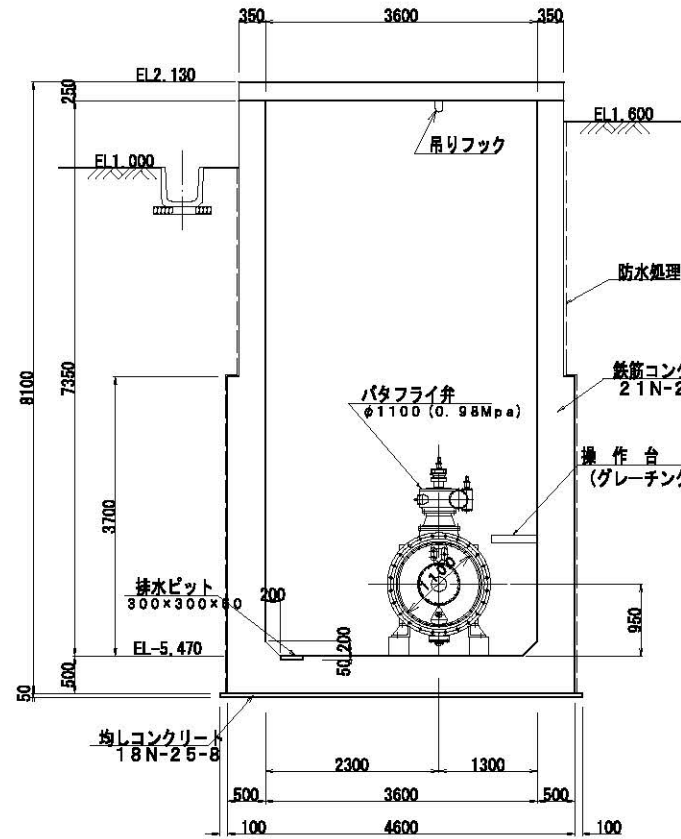
操作台詳細図 (S=1:20)



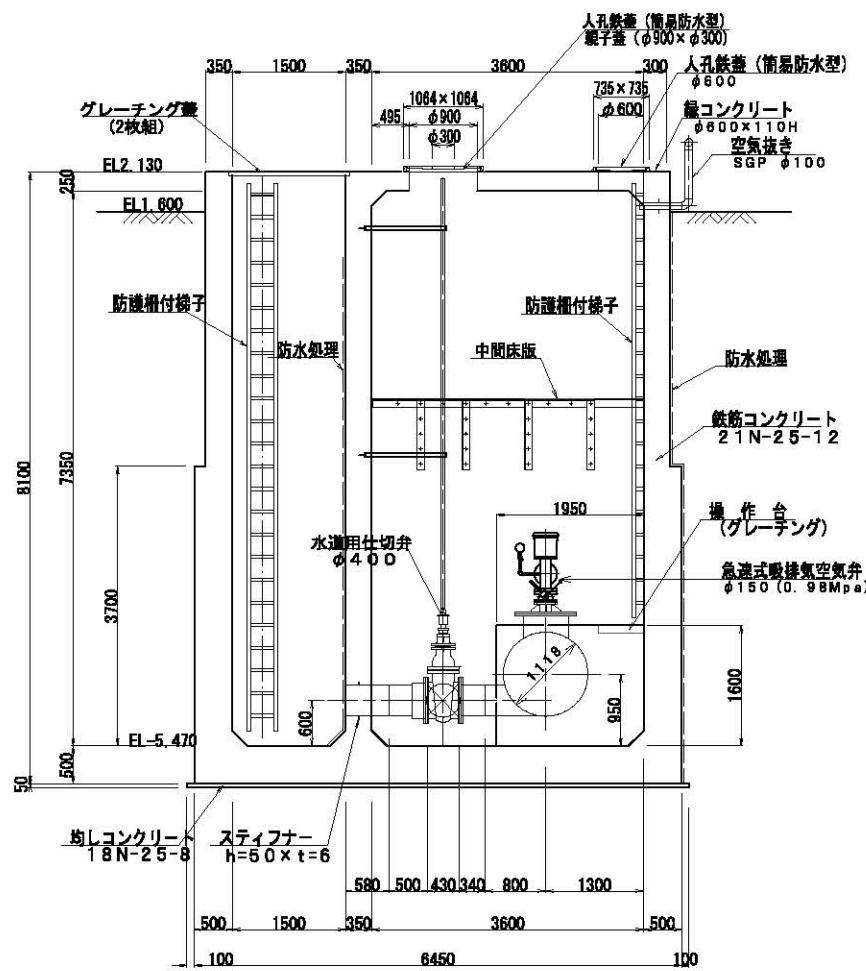
操作台受析詳細図 (S=1:10)



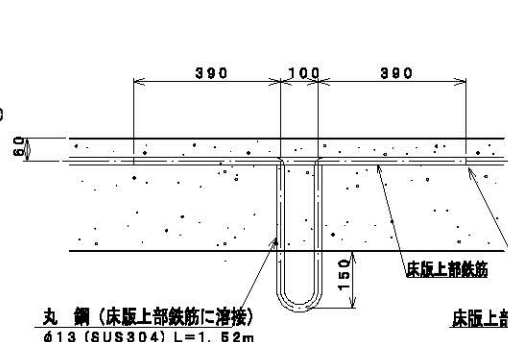
5 - 5



6 - 6



吊りフック詳細図 (S=1:10)



施設名	東部幹線水路 (0312100-1100-03)
図面名	12号排泥工・8-1号制水弁工構造図 (2/2)
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示 図面番号 8-84/149
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所

排泥工番号			7-1号排泥工			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 31 ' 23.79 "										
						関連事業名			経度	140 ° 22 ' 44.86 "										
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	1,900 (1,210) 1,010 (580) 2,910 (1,790)	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 2.11m ³ /S	施設容量 2.11m ³ /S	排泥工付近 標高(m)		地盤高 管中心高	4.01 0.30										
							国営幹線 水位(m)		静水位 動水位											
概要			受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段（ ）は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。 排泥工は東金市道4453号線下に設置された地下埋設施設である。市道4453号線の道路脇に設置された通気管と弁室人孔(マンホール)が目印となる。																	
平面図			縦断面図																	
			弁室人孔（マンホール） 7-1号排泥工の弁室はこのマンホール内。 内部に空気弁φ100mmが設置されている。 排泥作業はこのマンホールから行うとともに、東部幹線本管の管理用人孔も兼ねている。																	
																				
留意事項			類似構造の排泥工（空気弁φ100mm）が下流に4ヵ所存在するが別紙一覧表での整理により平面図・縦断面図は省略した。 各排泥工における構造の詳細確認は施設管理図を参照のこと。																	

排泥工番号		7-1号排泥工	路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 31 ' 23.79 "
			関連事業名		経度	140 ° 22 ' 44.86 "
説明図						

管理施設・配管・模式図

7-1号排泥工

東部幹線用水路

空

M

凡 例	
空 気 弁	⊙空
仕 切 弁	⊕仕
マンホール(人孔)	Ⓜ

【排泥弁について】

7-1号排泥工の構造は空気弁据付タイプであり、排泥作業は以下の手順により行う。

1. 空気弁副弁を開にして本管内の水位を低下。

2. 空気弁フランジ蓋を取り外す。

3. フランジ孔から管内へ水中ポンプを下ろし弁室外へ排水する。

「排泥工」

上段の数字は松潟支線分を含んだ面積(事業計画Ⅰ、東部幹線に寄る受益面積)、
下段()は、国営単独分(松潟支線分を含まない)の受益面積を表示している。



7-2号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ 100mm)



12-3号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ 100mm)



12-4号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ 100mm)



12-6号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ 100mm)

